

プラント状況確認結果(平成25年10月8日～10月15日)

平成25年 10月 15日

福島県原子力安全対策課

○ 平成25年10月8日～10月15日12時までの期間に、東京電力から福島第一原子力発電所1～4号機のプラント状況に関する報告内容について、県が確認した結果は次のとおりです。

⇒ この期間において、不具合等の連絡はありませんでした。

8月19日に発生した発電所敷地内H4エリアタンクからの汚染水漏えい事象の経過の詳細と現況については、[こちら](#)をご参照ください。

また、7月22日に東京電力から福島第一原子力発電所タービン建屋東側における放射性物質に汚染された地下水が海(発電所港湾内)に拡散(漏えい)していると考えられるとの報告を受けた事象について、県の対応は[こちら](#)をご参照ください。

(1) プラント状況 (10月15日午前5時)

場所	目的	監視項目	1号機	2号機	3号機	4号機 ^{※2}
原子炉 ^{※1} (核燃料)	冷却	注水量 (m ³ /h)	4.4	5.3	5.5	—
		圧力容器 下部温度(°C)	30.7	41.0	40.2	—
	未臨界確認	キセノン135濃度 ^{※3} (Bq/cm ³) (A系)	1.65 × 10 ⁻³	検出限界未満	検出限界未満	—
圧力容器	水素爆発防止	窒素充填	充填中	充填中	充填中	—
格納容器		水素濃度 (A系) (体積%)	0.04	0.06	0.11	—
使用済燃料 プール	冷却	水温(°C)	24.5	21.6	20.4	29

※1 直近データのみ記載。詳細は[東京電力のページ](#)を御覧ください。

※2 4号機は原子炉に燃料が入っていないため空欄。

※3 保安規定に定める制限値は、1 Bq/cm³以下である。

(2) 発電所敷地境界におけるモニタリングポストの測定結果 (10月15日午前10時)

最小 2.7 (MP-1) ～ 最大 5.6 (MP-3) マイクロシーベルト/時 ⇒ [計測地点の地図](#)

(3) 発電所専用港内の海水中セシウム137濃度の測定結果 (10月14日採取分)

最小 検出限界未満(港湾口、6号機取水口前) ～ 最大 110(2号機スクリーン(シルトフェンス内側)) Bq/ℓ

(4) 発電所専用港外(沿岸)の海水中セシウム137濃度の測定結果 (10月14日採取分)

5,6号機放水口北側に30m : 1.5 Bq/ℓ

1～4号機放水口から南側に1.3 km : 検出限界未満 ※検出限界値は約1.1 Bq/ℓ

(5) 発電所敷地内の大気中セシウム137濃度の測定結果 (10月14日採取分)

西門 : 検出限界未満 ※検出限界値は約2 × 10⁻⁷ Bq/cm³

(6) 1～6号機タービン建屋付近のサブドレン水中セシウム137濃度の測定結果(10月14日採取分)

最小 検出限界未満(3,4号機) ～ 最大 0.30(2号機) Bq/cm³ ※検出限界値は約0.02 Bq/cm³

【参考事項】

- 10月9日 9時35分頃、ジャバラハウス内の淡水化装置(R0-3)の配管から滞留水処理装置(SARRY)処理後の水が漏えいしているのが確認された。配管に繋がる弁を閉止し、10時50分に漏えいは停止した。漏えい量は約11トンで、堰外への流出はない。その後、10月11日13時頃、漏えいした水の回収を完了した。
- 10月10日 7時35分頃、3号機原子炉建屋5階中央部から湯気らしきものが漂っているのがカメラにて確認された。プラント状況及びモニタリングポスト指示値に有意な変動はなかった。その後、10時30分頃に湯気らしきものは確認されなかった。また、10月11日7時40分頃に再度湯気らしきものが確認されたが、11時15分頃には確認されなかった。

(問い合わせ 024-521-1917)